

学校訪問・地域交流  
(年次報告(平成25年度後期・26年度前期) V  
地域交流)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2015-03-19 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 案野, 香子, 袴田, 麻里 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.14945/00008125">https://doi.org/10.14945/00008125</a>

## V 地域交流

### 学校訪問・地域交流

案野 香子／袴田 麻里

平成25年10月20日(日)、静岡市青少年国際親善交流事業の活動の「昔の遊びにチャレンジ」に留学生11名が参加し、地域の小学生たちと交流したり、一緒に日本のけん玉や独楽などで遊び、楽しいひと時を過ごした。

同じく10月20日(日)に、静岡県留学生支援ネットワークが富士山バスツアーを実施し、静岡大学からは留学生、日本人学生合わせて35名ほどが参加した。

10月27日(日)には、7名の留学生が登呂公園の稲刈をした。これは春に留学生が弥生時代方式で田植えをしたものが実った稲で、刈るときも石斧を使ったり、手で脱穀したりした。

11月15日(金)から17日(日)まで、浜松キャンパスの留学生5名（ベトナム2、インド1、ネパール1、マレーシア1）が、浜松市内の家庭でホームステイし、日本の生活様式や習慣、文化を体験した。

11月23日(土)には3名のアジア出身の留学生が静岡ユネスコ協会主催の「アジアの国からの留学生と作ろう・語ろう・遊ぼう」というイベントに参加し、小学4年生から中学3年生までの子供たちと交流を行った。

11月23日(土)は、同じく静岡市青少年国際親善交流事業の活動である「座禅にチャレンジ」に7名の留学生が参加し、小学生たちと交流したり、臨済寺で座禅を組んだり、寺の中を見学したりした。

11月27日(水)、12月11日(水)に、静岡大学附属浜松中学校3年生の英語授業をマレーシア、インドネシア、中国、インド、ウクライナ、ルーマニア、バングラデシュ、フィリピンの留学生・外国人研究者が訪問し、中学生と日本や母国について英語で話し合った。

平成26年1月18日(土)には、13名の留学生が駿府城公園紅葉山庭園の茶室で行われた闘茶に参加した。これも静岡市青少年国際親善交流事業の活動の一環である。

また2月2日(日)は登呂公園にて餅つきが行われ、10名の留学生が参加した。

1月25日(土)に、NPO法人浜松日中文化交流会主催の春節パーティーが開催され、浜松キャンパスの中国人留学生や研究者、およびその家族約40名が招待され、ゲームや歌、楽器演奏などを通して、お互いの交流を深めた。

7月26日(土)に、榛葉鉄工所株式会社からのご招待により、浜松キャンパスの留学生、外国人研究者が家族とともに交流会に参加し、つま恋リゾートでレクリエーションを楽しみながら社員の方々と交流した。

8月10日(日)に、NPO法人浜松日中文化交流会の「日中文化の集い」に浜松キャンパスの中国人留学生や研究者、およびその家族約30名が招待され、中国舞踊を披露するなど文化交流を楽しんだ。

9月13日(土)から15日(月)まで、ベトナム人留学生1名が浅羽ベトナム会会員の家庭にホームステイし、日本の家庭生活を体験した。